

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市手形学園町1番1号
名称 国立大学法人秋田大学
代表者 学長 山本 文雄

国立大学法人秋田大学

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

秋田大学は、独創的な成果を世界に発信しつつ、国内外の意欲的な若者を受け入れ、優れた人材を育成するため、地域や世界の諸機関との連携による柔軟な教育研究体制を構築し、グローバル化やDX(Digital Transformation, デジタル技術による変革)化を推進しながら、地域から地球規模の諸課題の解決に挑んでいます。このような活動は、健康や福祉、教育、エネルギー、環境、産業等、持続可能な開発目標SDGsの達成につながるものであり、学長のリーダーシップのもとすべての教職員や学生等が協力して取り組み、知のアカデミアとして地域社会や国際社会の発展に貢献していきます。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R3年11月19日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	教育においては、国内外の学生を受け入れ、SDGsの知見とDX化推進に必要な素養を身に付け、社会の諸課題の解決に取り組むことができる人材を育成する。	資源学、人間・社会科学、医学・保健学、理工学等に関する各専門知識を身に付け、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を輩出する。	学生教育においては、東北地方を中心とする国内の学生のみならず、中国や台湾、インドネシア等の東南アジアに加え、南部アフリカ地域等の発展途上国からの留学生も積極的に受け入れ、各種奨学金制度を活用して支援を行い、富裕・貧困に関わらず、全ての学生が平等に高等教育を受けられるようにしている。受入れた学生については、地域社会のみならず、国際社会の発展にも寄与できる人材として育成するため、令和6年度から英語力をさらに強化する	1 4 10

			<p>体制構築を進めている。さらに、昨年度に引き続き、ロシアのウクライナ侵攻による緊急人道支援として、ウクライナの学生及び研究者を受け入れるとともに、経済的な支援に加え、住居支援等も行っている。また、DX推進に必要となる数理・データサイエンス・AI教育について、学部生全員が学ぶことができる教育プログラムを設定し、リテラシーレベルの知識を身に付けている。このような環境において、SDGsの知見とDX推進に必要な知識に加え、各分野の専門知識を身に付けた医師や看護師、診療看護師（NP）、教師や心理士、公務員、技術者等として、社会で活躍できる人材を継続的に輩出し、持続可能な社会構築に貢献している。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	<p>研究においては、ICTを進化させながら、地域から地球規模に至る社会の諸課題の解決に挑み、SDGsの達成にも貢献することができる学術的な成果を創出する。</p>	<p>医療・介護、資源、エネルギー、教育等の課題を解決する研究にICT等を活用して取り組み、学術的成果の発表や社会実装等に繋げる。</p>	<p>研究においては、ICTを進化させ地域や地球規模の諸課題を解決するため、教員のみならず学生も、いつでもどこでもAIや統計学等によるデータ解析を行うことができるソフトウェア環境を整備するとともに、XRやAI、ロボティクス等を活用した産業DXを推進するための環境を整備した。各分野における研究として、医療・介護分野においては、認知症のり</p>	<p>3 7 9</p>

			<p>スク因子を解明するための研究や、秋田県の医師の偏在化を解消するための遠隔診療に関する研究、高齢者の交通事故の低減を目的としたVR歩行シミュレータ、運動機能を改善するリハビリテーションロボットの開発等を推進している。また、資源分野では、情報工学を活用したスマートマイニングによる資源探査や開発等に関する研究を推進している。さらに、秋田県等と連携して進めている航空機の電動化に向けて、今年度は電動ファンの駆動を目指す大出力モータの開発成功等、グリーン社会の構築に向けた研究成果を上げた。</p>	
<p>☑経済 ☑社会 ☑環境</p>	<p>社会貢献においては、教育研究の成果を地域に還元し、地域と協働して地域振興策に取り組むとともに、諸外国との学術交流を推進しながらSDGsの達成に貢献する。</p>	<p>教育研究で培う知見や技術を活用し、公開講座や技術移転等の活動を行い、地域・国際社会の発展への寄与や人材育成等を行う。</p>	<p>社会貢献においては、教育研究で培ってきた知見や技術を活用した公開講座や技術移転等を行っている。具体的には、公開講座について、秋田県における健康長寿社会の構築に向け、県民の健康維持・向上や医療・介護、高齢者の認知症やフレイル予防対策等の公開講座等を開催し、また、今年7月に発生した記録的大雨災害に焦点を当てたシンポジウムを開催し、県民の地域防災力向上に寄与している。さらに、他の分野でも、資源分野では「資源フィールド</p>	<p>3 4 17</p>

		<p>を歩こう 話そう 感じよう!」, 理工分野では「物質科学への誘い」, 人文科学分野では「ジャンヌ・ダルク～預言者から背教者そして聖女へ～」等の講座を実施している. 加えて, 社会人の学び直しである「リカレント教育」にも注力し, 成長分野である「デジタルやグリーン分野の人材育成」も進めている. また, 技術移転等について, 県内唯一の特定機能病院として, 医師不足や偏在化に対応する遠隔診療の実施, 心臓の大動脈弁の変性に対し低侵襲な経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) 等の高度医療に加え, ドクターカーによる高度救急救命等も行っている. また, 理工系分野では, 地域社会と連携した洋上風力発電や小型・高性能モータの開発等を推進するとともに, 国際社会とは, 南部アフリカ諸国や中央アジア地域等を連携した地下資源の開発や人材育成等も行っている. このように, 本学では知のアカデミアとして, SDGs の達成に向け, 教育研究活動の成果を地域社会や国際社会に還元する取り組みを行っている.</p>	
--	--	---	--

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	